

岡山大学病院は、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業として、造血幹細胞移植に携わる専門的な医療従事者、及び地域の医療従事者の育成を目的としたセミナー、実地研修を行っています。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業

# 第1回 造血細胞移植推進拠点病院 中国ブロックセミナー アンケート報告

2016/3/26 (土) 13:00~17:00

岡山コンベンションセンター ママカリフォーラム4F 407会議室

医師を対象に、移植後合併症の克服を目指した教育講演を開催しました。

参加者33名：うち血液内科医師19名 小児科医師4名 看護師8名 HCTC1名 臨床検査技師1名（岡大含めて10施設参加）

## 講演

13:10~13:45

「慢性GVHD病変の見方」

国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科 稲本 賢弘 先生

13:45~14:10

「慢性GVHDにおける皮膚病変」

川崎医科大学附属川崎病院 皮膚科 青山 裕美 先生

14:10~14:35

「移植後閉塞性細気管支炎の病理」

広島市立広島市民病院 病理診断科・臨床検査部 山鳥 一郎 先生

14:55~15:20

「慢性移植片対宿主病に対するタミバロテンの医師主導臨床第Ⅱ相試験」

岡山大学病院 血液・腫瘍内科 西森 久和

15:20~15:45

「慢性GVHDに対する低用量IL-2療法」

岡山大学病院 血液・腫瘍内科 松岡 賢市

15:45~16:40

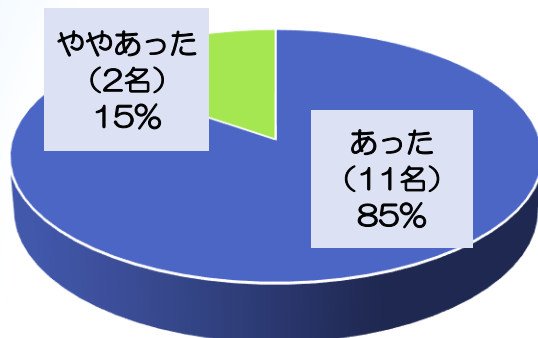
「疾患特異的M2マクロファージの研究」

大阪大学微生物病研究所 自然免疫学 佐藤 荘 先生

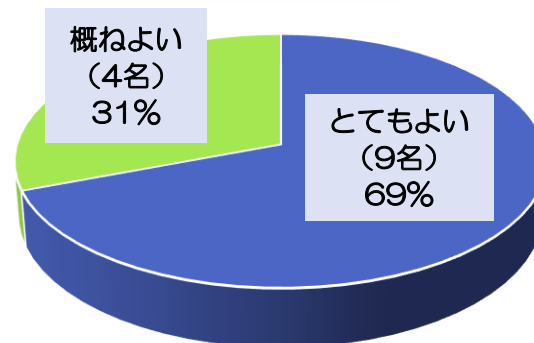


# 第1回中国ブロックセミナー アンケート報告 –セミナー全般について–

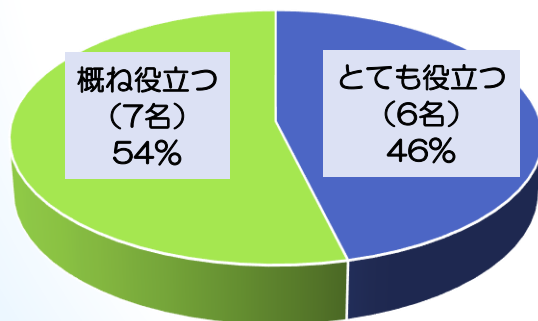
### セミナーへの参加意義



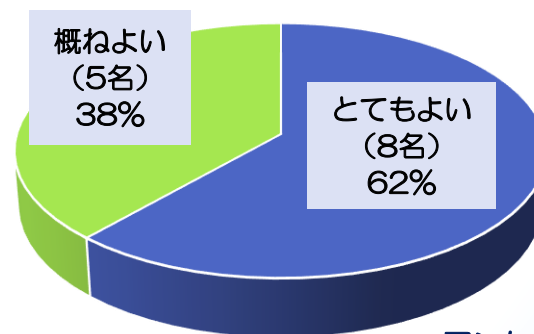
### セミナーの評価



### 実践への役立ち度



### プログラムの構成



アンケート回収率 39%

## 第1回中国ブロックセミナー アンケート報告 —その他感想、次回セミナーへの要望など—

### 【感想】

- 写真のスライドが多く提示されていたので、配布資料としていただくと長く役立つと思った。
- メモを取るのに、机があった方がよかった。



### 【次回セミナーへのご要望】

- 難治症例や臓器障害をもつ患者さんへの移植を行ううえでの治療の工夫が勉強できればと思う。  
例えば、腎機能障害をもつ方の前処置など。
- 長期フォローに関連すること。例えば、不妊対策、ワクチン、GVHD（引き続き）など。
- 移植の種類を選択、移植のタイミングについて、先生方の考えを教えてください。
- 移植関連合併症のコントロールについて。TMA、SOSなど。

## 第1回中国ブロックセミナー アンケート報告



おかげさまで「第1回造血細胞移植推進拠点病院中国ブロックセミナー」を無事終えることができました。ご出席者のみなさま、関係者のみなさまには心よりお礼申し上げます。

医師対象のセミナーでしたが、看護師、HCTC、臨床検査技師の方からもご参加いただきました。写真の提示も多くてわかりやすく、臨床試験の詳細を学べる機会になったと好評でした。次回はアンケートの結果をふまえて、セミナーを企画していきたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

造血幹細胞移植医療体制整備事業 事務局

岡山大学病院・造血幹細胞移植推進拠点病院